

# 第23回オンライン研究会

2022年7月9日(土)15:00-16:30

参加者  
募集!

## 市民協働の成功法則 ～焼津市の事例から～

### <講師> 松下啓一 氏

地方自治研究者・政策起業家(元相模女子大学教授)、現代自治体論。「励ます地方自治」を展開。26年間の横浜市職員時代には、総務・環境・都市計画・経済・水道などの各部局で調査・企画を担当。協働との付き合いは30年。近著に、『事例から学ぶ・市民協働の成功法則』(水曜社)

「仲良くやるから協働というのは、辞典の世界である」(『事例から学ぶ・市民協働の成功法則』)。もともと協働は、「行政とともに市民も公共を担う」という概念である。その協働の本意をあらためて確認し、この理念で、まちづくりを進めている静岡県焼津市を例に、協働の実践的意味を考える。

みんなが公共を担うという協働の発想から、

- ・「自分が地域の名産品」と考えたら、それが、ふるさと納税の返礼品となる。その結果、1,000品目、納税額全国第2位(H27年)
- ・市民、全議員、行政はまちの当事者、公共の担い手。それらが一堂に会し、まちの未来を議論する「まちづくり市民集会」を市民が実施(H27年から)

◎ オンライン研究会とは 北海道自治体学会が、コロナ禍のもと、会員や研究者、市民の皆さんの交流と研鑽の場を目指して2020年にスタートしたZoomを使った研究会です。参加は無料。原則毎月開催。統一テーマは「ポストコロナの自治」としています。研究会終了後は、オンライン交流会開催(自由参加)



### 申込は

参加者には、使用するアプリZoomのリンクをお知らせします。

- ◎ 定員 50人 どなたでも参加できます
- ◎ 申込先 <https://forms.gle/SVCTkNTZeH7DDTFm8> (QRコードからも)
- ◎ 締切り 2022年7月5日(火)
- ◎ 問合せ 運営委員(吉田) E-mail:fwgd5404@jcom.zaq.ne.jp

